

武力で平和はつukれない



憲法九条を活かした平和外交こそ

みなさん、こんにちは。

私たちは憲法九条を守ろうの一点で一致し行動している「こまえ九条の会」です。亡くなられた井上ひさしさんなど九名の著名人が呼びかけ、全国の地域、職場、学園で7千を超える九条の会が活動しています。「こまえ九条の会」の活動も今年で6年目になります。今年も力いっぱい、憲法九条を守り活かすとりくみを発展させるためにがんばります。この草の根の運動への皆様のご協力をお願いいたします。



秋の学習会「武力で平和はつukれない」(昨年12月4日、西河原公民館ホール)

軍拡と海外派兵すすめる 危険な「新防衛大綱」

みなさん、菅内閣は昨年12月17日に「新防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」を閣議決定しました。

このなかで菅内閣は、日本の防衛に限定するという建前の「基盤的防衛力の整備」という考え方を投げ捨てて、新たに「動的防衛力の構築」を打ち出しました。そして今後5年間で約2.3兆5千億円もの軍事費を投入して、自衛隊が海外に展開する能力を増強することをめざしています。

また「グローバルな安全保障課題」への対応などとして、自衛隊が米軍と共同して、海外での戦



故井上ひさしさん

第九条のこと
(井上ひさし著「子供に伝える日本国憲法」より)

もう二度と戦争はしない、という第九条が出来てから、日本国家が国としてよその国の人を殺したり、武器をつくつてよその国に売ったりはしていません。世界でもこんな国は、まれです。胸を張っている。

戦争や、病気で苦しんでいる世界の人々を助けるために、日本ができることは、武器や兵士を国外に送ることではないはず。日本は力がある国ですから、その力を世界の人たちの役に立つ方向に使えば、りっぱに生きていきます。たとえば、防衛に使うお金を医学の研究に使ってがんに効く薬を発明するというように、世界の苦しみや悩みを解決するためにお金を使う。もっている力をそういう方向に向ければ、「あの国は世界にとって大切な国だから、あの国を絶対にこわしてはいけない」と世界から思われるようになるでしょう。

それをするだけの力と良識が、日本にある、ということを私は信じています。(中略)

「平和主義」という考え方は古いでしょうか。問題が起こっても、戦争をせず、話し合いを重ねて解決していく。その考え方が古くなったとは、私にはけつして思えません。(中略) 「平和主義」という考え方は、人類にとつての理想的な未来を先取りしたものだといえます。その考え方が戦争をふせぐ最良の方法だと注目している人は、外国にもたくさんいます。

第九条は、世界の人々のあこがれでもあるわけですから、なんとしても、その精神をつらぬいていきたいものです。

争に公然と参加するための態勢をいっそう強化しようとしています。

そして中国の軍拡や北朝鮮の軍事的行動を「懸念事項」などとして、これに対抗するかたちで、イージス艦や潜水艦などを増強するとともに、新たな部隊配備などを打ち出しています。武器輸出三原則の見直しは、明記はされませんでした。武器の「国際共同開発・生産に参加する」ことが「主流」になっているとして、武器輸出に道を開こうとしています。

全体として自民党政権時代にも打ち出しえなかった極めて危険な道に踏み込むものであり、絶対に許すわけにはまいりません。

「軍事には軍事」をやめ 平和のための外交力強化を

みなさん。このような「軍事には軍事で」という計画は、日本国憲法の平和の理念を乱暴に踏みつけるものです。いま日本に求められてい

米軍のための予算を削り 暮らし福祉、教育の充実を

米国の同盟国が負担する米軍駐留経費(2002年)



みなさん。日本の軍事費は年間5兆円近くにもなります。

この中には、日本の防衛とは無関係なアメリカの海外での戦

争を応援するための軍事費がたくさん含まれています。沖縄の普天間基地などから、遠くイラクやアフガニスタンに出かけて行って罪のない人々の命を奪ってきた米軍海兵隊にも私たち国民の税金が使われています。米軍基地の用地提供費用、基地周辺対策費、「思いやり予算」など合計すると今年度は7100億円も使われています。日本が米軍に出しているお金は、ドイツの約3倍、韓国の約5倍、イタリアの12倍です。アメリカと軍事同盟を結んでいる日本以外の国26か国が出しているお金を全部合計し

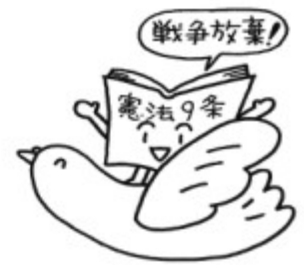
るのは、軍事力の強化ではなく、東アジアに平和的環境をつくりだすための平和のための外交力です。

いま東アジアでの経済交流や人的交流が急速に広がってきています。これらを大切にして、近隣諸国の人々との対話を広げ、信頼を醸成し、紛争の平和解決の流れを発展させましょう。

私たち「こまえ9条の会」は、憲法の平和原則を踏みにじり、軍拡と海外派兵を推し進める危険な「新防衛計画大綱」に反対し、その撤回を強く求めます。

そして平和都市宣言を行っている私たちの町、狛江市から、草の根の平和の世論を広げ、憲法九条を守り憲法九条を活かした平和外交、平和の国づくりに転換させるためにがんばります。

憲法九条を守る署名は平和の世論を広げる大きな力になります。ぜひ署名にご協力ください。



た額よりも日本は多く払っています。

こういう米軍の海外での戦争のための軍事費を削って、社会保障や教育、中小企業、農業などに分野にまわしましょう。

子どもたちに行き届いた教育を進めるための30人学級、その実現に必要な予算は8000億円、中小企業のための予算を2倍にするのに必要な予算は1900億円、10万人分の保育所を建設するのに必要な予算は1400億円です。年間5兆円の軍事費の一部を回せばすぐにも実現できます。軍事費を削って暮らしと福祉教育を充実させましょう。

第4回「憲法と遊ぼう」 ～日本国憲法と自衛権を考える～

日時：3月12日(土)

午後7時～9時

場所：中央公民館

講師：中村裕二さん



(弁護士、狛江市教育委員)

*参加費無料、どなたでも参加できます。